

教育課程と教育活動（スクール・ポリシー）

A 未来型学力を育成する

I 基礎・基本的な知識と技能

- (1) 主権者としての資質を育み、自律的に行動する力を育てる
- (2) 言語活動（聴く、読む、表現する）の展開と情報活用力の涵養
- (3) 科学的探究の体験と知的好奇心の覚醒
- (4) 協働の体験と社会的知性の形成
- (5) 社会貢献、労働、技術、芸術、スポーツ等の経験と感動体験による達成感、効力感、意欲の涵養

II 学ぶ力

- (1) 学習を自らコントロールする
- (2) メタ認知をよく働かせる
- (3) 認識の方法や観点を身につける
- (4) 思考の手続きに習熟する

III つなげる力

- (1) 異質な要素を有する他者と共生を図るスキルを身につける
- (2) 他者の視点を次々に想定し吟味できる
- (3) 共感的に他者を理解する
- (4) 異分野の知見や過去の事柄を直面する課題につなげる（生かす）

IV 問題を解決する力

- (1) 道具や知識を相互作用的に用いる
- (2) 根拠に基づいて動的にとらえる
- (3) 臨床判断力（問題を発見・分析し計画を修正しながら実践し評価する力）の涵養
- (4) 問題の解決に向けて協働を組織し、取り組みを点検して新たな課題を設定し方略を選択する

B 年次目標と教育課程

- ◇ 未来型学力育成年次目標 ※次頁【表】
- ◇ 教育課程表 ※【別表】

C 入学者の受け入れに関する方針

◇ 求める生徒像

- ・看護科（5年一貫）…看護師への志高く、共感的理解力と科学的思考力に優れた生徒
- ・普通科未来探究コース…知的好奇心に富み、異質な人々と対話、協働できる生徒
- ・普通科スポーツ科学コース…身体能力に優れ、チームワーク精神に満ち、スポーツを探究できる生徒

◇ 選抜方式

- ・推薦入試…①学力推薦 ②探究特別推薦 ③特別選抜（自己推薦）
- ・一般入試…学力試験（5科目）、面接

未来型学力育成年次目標

2021年6月15日採択

領域	目標	1年生（普通科・看護科）	2年生（普通科・看護科）	3年生（普通科・看護科）	看護・専攻科1年	看護・専攻科2年
I 基礎基本的な知識と技能 (生きて働く知識及び技能)	(1)主権者としての資質を育み自律的に行動する力を育成する	支えてくれる人々に感謝しながら自分の進路を考える 自己決定・内省を経験する 必要な相談ができる TPOを理解し、さわやかに挨拶できる 自覚的にルールを守る 時間を守る	自分を社会の中ですべて進路と社会的貢献を考える 自己決定・自己評価を経験 報告・連絡・相談の習慣化 礼儀正しくTPOに合わせた行動がとれる ルールを守り改善する 時間を見て行動する	個人的目標と社会的目標の相補性を考える 自主運営・自己管理を実践 適切に報告・連絡・相談できる 礼儀正しくTPOに合わせて対応しながら人々と協働する ルールを作り改善する 先を予測して行動する	個人的目標と社会的目標の相補性を考える 自主運営・自己管理を実践 適切に報告・連絡・相談できる 礼儀正しくTPOに合わせて対応しながら人々と協働する ルールを作り改善する 時間管理ができる	個人的目標と社会的目標の統合を追求する 自主運営・自己管理を実践 適切に報告・連絡・相談できる 礼儀正しくTPOに合わせて対応しながら人々と協働する ルールを作り改善する 時間管理ができる
	(2)言語活動(聴く、読む、表現する)の展開と情報活用力の涵養	メモを取りながら聴く 受け取った情報を整理し、読み取り、調べる 1分程度のスピーチ原稿を作成できる	既知に連動させて聴く 必要な情報を収集し、読み取り、整理する 1,600字程度の原稿を作成し工夫して表現する	観点をもって聴く 旺盛な言語・情報活動を展開し、行動に活用する 2,800字程度の論文を作成し工夫して表現する	旺盛な言語・情報活動を展開し、複数の情報を活用して現状を分析、判断する 7分程度のスピーチを工夫して実施できる	旺盛な言語・情報活動を展開し、複数の情報を活用して現状を分析、判断する 4,000字程度の論文を作成し工夫して表現する
	(3)科学的探究の体験と知的好奇心の覚醒	人間、自然、社会についての基礎的知識を学ぶ 自発的な領域横断学習、或いは深掘り学習を体験する	人間、自然環境、社会、平等等について探究する 自発的な領域横断学習、或いは深掘り学習の経過を表現する	人間の尊厳、人権、民主主義、多様性等について探究する 自発的な領域横断学習、或いは深掘り学習の経過と成果を表現し共有する	人間の尊厳、人権、環境、生命、多様性等について探究する 自発的な領域横断学習、或いは深掘り学習の経過と成果を表現し共有する	人間の尊厳、人権、環境、生命、多様性等について探究する 自発的な領域横断学習、或いは深掘り学習の経過と成果を表現し共有する
	(4)協働の体験と社会的知性の形成	学校等での共有スペースでの生活や社会参加活動を経験しながら社会の諸問題を学び、人権尊重、公共性、公正性の観点を身につける	公共的空間での協働体験を通じて、自由と民主主義や利己と利他について感じ取り、対立から協働への展望を探究する	様々な社会参加や協働体験の中で、ソーシャルキャピタル(社会関係資本)とチームワークの不可欠たるを確信する	様々な社会参加や協働体験の中で、ソーシャルキャピタル(社会関係資本)とチームワークの充実・増進を探究する	様々な社会参加や協働体験の中で、ソーシャルキャピタル(社会関係資本)とチームワークの充実・増進を探究する
	(5)社会貢献、労働、技術、芸術、スポーツ等の経験と感動体験による達成感、効力感、意欲の涵養	他者の感動体験を聴く 部活動、学級学年活動、社会貢献活動などに積極的に参加する	大小の感動体験を表現する 目的をもって部活動などの自主的活動に参加し自分の取り組みを総括する	大小の感動体験を表現し共有する 自主的活動に意欲的、協力的な集団の形成に貢献する	大小の感動体験を表現し共有する 自主的活動に意欲的、協力的な集団の形成に貢献する	大小の感動体験を表現し共有する 自主的活動に意欲的、協力的な集団の形成に貢献する

未来型学力育成年次目標

2021年6月15日採択

領域	目標	1年生（普通科・看護科）	2年生（普通科・看護科）	3年生（普通科・看護科）	看護・専攻科1年	看護・専攻科2年
Ⅱ 学ぶ力 (学びに向かう力、人間性)	(1)学習を自らコントロールする	学習計画を立て環境を整え、学ぶ時間を確保する 学習の方略を学び、得意とする方略に習熟する	学習計画と目標を立て環境を整え、学ぶ時間を確保し、学習状況を自己点検する 手にした情報の信頼性や妥当性を判断しながら学習方略を活用する	友人とともに学習計画と目標を立て環境を整え、学ぶ時間を確保し、学習状況を相互点検する 膨大な情報の中から必要なものを選び出し、組み合わせ、相手に応じた方法で表現する	友人とともに学習計画と目標を立て環境を整え、学ぶ時間を確保し、学習状況を相互点検する 膨大な情報の中から必要なものを選び出し、組み合わせ、相手に応じた方法で表現する	友人とともに学習計画と目標を立て環境を整え、学ぶ時間を確保し、学習状況を相互点検する 必要な情報を選び出し、組み合わせ、最適解を協働して生み出し、相手に応じた方法で表現する
	(2)メタ認知をよく働かせる	自分をモニタリングする 目標を持って行動する 自分の行動を振り返り、課題に気づく	モニタリングと自己反省を習慣化する 自分の知識の現状を認識し(メタ知識)適切な目標を立てる 対象の特性に応じたアプローチを選択し、振り返る	相互にモニタリングし批判しあえる メタ知識と目標の差を明確化し次の目標と方略を設定する 対象の特性に応じたアプローチを選択し、振り返る	自分だけでなくグループを相互に批判しあえる メタ知識と目標の差を明確化し次の目標と方略を設定する 対象の特性に応じたアプローチを実施し、客観的に評価できる	自分だけでなくグループを相互に批判しあえる メタ知識と目標の差を明確化し次の目標と方略を設定する 対象の特性に応じたアプローチを実施し、客観的に評価できる
	(3)認識の方法や観点を身に着ける	着眼点をもって予測しながら対象を見る 経過や展開過程を見る 区別、区分、類別する	着眼点をもって比較したり普遍化する 原因と結果の関係を見る 条件や仮定を考える	認識の観点や方法を選択する つながりや関連を見て類推する 形態とつながり、その働きを考える	見方を反転させたり置き換えて考える 予測や類推と現実の差異を評価し認識を再構成する 部分と全体、時系列、他領域との関係を考察する	見方を反転させたり置き換えて考える 予測や類推と現実の差異を評価し認識を再構成する 部分と全体、時系列、他領域との関係を考察する
	(4)思考の手続きに習熟する	思考の4つの手続きに習熟する ・演繹:論理の規則から ・帰納:個々の事実から ・類推:類似の点から ・留保:急がず一旦保留	他者の視点を次々に想定し、吟味できる ・複眼的に見る ・相補的に見る ・多面的に見る	他者の視点を次々に想定し、吟味できる ・大局的に見て考える ・概括的に見て考える ・系統的に見て考える	エビデンスを明確にして現実的にとらえる ・実証的に考える ・あてはめてみる ・普遍性を追求する	矛盾と止揚、変化と展望をとらえる ・力動的に見て考える ・象徴に託して考える ・弁証法的に考える

未来型学力育成年次目標

2021年6月15日採択

領域	目標	1年生（普通科・看護科）	2年生（普通科・看護科）	3年生（普通科・看護科）	看護・専攻科1年	看護・専攻科2年
Ⅲ つなげる力 (思考力・判断力・表現力など)	(1)異質な要素を有する他者と共生を図るスキルを身につける	主体的に周囲と協力することができる 自らの考えを示し他者の考えに耳を傾けて対話し交流する 個人を尊重する	自分や周囲の人々を肯定的に評価でき、主体的に周囲と協力することができる 集団の中で自己解放でき、高い応答性を発揮する 多様な意見を尊重する	様々な場面で積極的な発言ができ、主体的に周囲と協力することができる 交渉して合意を築き、争いごと(対立)を解決する経験をつむ 協力協働を組織する	様々な場面で積極的な発言ができ、主体的に周囲と協力することができる 交渉して合意を築き、争いごと(対立)を解決する経験をつむ 協力協働を組織する	様々な場面で積極的な発言ができ、主体的に周囲と協力することができる 交渉して合意を築き、争いごと(対立)を解決する経験をつむ 協力協働を組織する
	(2)他者の視点を次々に想定し、吟味できる	相手の立場になって考えることができる 異なる意見があることがわかる	相手の立場になって考え又自分を他者の視線の中に置く 異なる意見を一方的に否定することなしに、取り込んだり決定できる	異なる考え方や価値観を受け止め、自分も他者にとっては異質だと認識できる 意見の差異を埋めるために一致点と不一致点を整理し、また意見の修正や変更を行い、合意をめざす	異なる考え方や価値観を受け止め、一致点を探ることができる 意見の差異を埋めるために一致点と不一致点を整理し、また意見の修正や変更を行い、合意をめざす	異なる考え方や価値観を受け止め、一致点を探ることができる 意見の差異を埋めるために一致点と不一致点を整理し、また意見の修正や変更を行い、合意をめざす
	(3)共感的に他者を理解する	異文化を受け入れ敬意をもって学ぶ 相手が話していることを聴き取る	多様性の意味と役割を学び取る 他者の心の声(話せないでいること)を聴き取る	多様なそれぞれの人の尊厳と価値を学び取る 判定したり、価値判断したりすることなく聴き取り、共感によって自らの世界観を広げていく	他者の意図をくみ取るために話しやすい雰囲気をつくり他者を尊重した行動ができる 判定したり、価値判断したりすることなく聴き取り、共感によって自らの世界観を広げていく	他者の意図をくみ取るために話しやすい雰囲気をつくり他者を尊重した行動ができる 判定したり、価値判断したりすることなく聴き取り、共感によって自らの世界観を広げていく
	(4)異分野の知見や過去の事柄を、直面する課題につなげる(生かす)	自分の周囲に多くの価値あるものが存在することを学ぶ 同質に染まるより「違いを尊重しあえる」方が心地よいことをを経験する	あらゆる事象が単独では存在できないことを学ぶ 学びは他分野や他者との限らない関連の中で成立することを知る	多様な価値あるものにつながる方略を学び実践する 知識を水平方向に応用したり、深掘して転移させる能力を磨く	多様な価値あるものにつながる方略を学び実践する 知識を水平方向に応用したり、深掘して転移させる能力を磨く	多様な価値あるものにつながる方略を学び実践する 知識を水平方向に応用したり、深掘して転移させる能力を磨く

未来型学力育成年次目標

2021年6月15日採択

領域	目標	1年生（普通科・看護科）	2年生（普通科・看護科）	3年生（普通科・看護科）	看護・専攻科1年	看護・専攻科2年
IV 問題を解決する力 (思考力・判断力・表現力など)	(1)道具や知識を相互作用的に用いる	言語や情報テクノロジーを適切に用いるスキルを身につける 情報管理を学ぶ	言語、知識、情報テクノロジーや技術を他者と相互作用的に活用する能力を磨く 情報の信頼性、妥当性を判断しながら情報管理能力を伸ばす	言語、知識、情報テクノロジーや技術を他者と相互作用的に活用する能力を磨く 情報の信頼性、妥当性を判断しながら人権を尊重して情報を管理する	言語、知識、情報テクノロジーや技術を他者と相互作用的に活用する能力を磨く 情報の信頼性、妥当性を判断しながら人権を尊重して情報を管理する	言語、知識、情報テクノロジーや技術を他者と相互作用的に活用する能力を磨く 情報の信頼性、妥当性を判断しながら人権を尊重して情報を管理する
	(2)根拠に基づいて動的にとらえる	エビデンスとは何かを学び、鍵となる知識を体得する 様々な見方があるを知る 予測し、疑問を持つ	エビデンスの必要性を理解し、新しく獲得した知識を既知と関連させて活用する 別の観点で振り返る 予測し、疑問を持ち、調べる	主観ではなくエビデンスに基づいて観察、判断、計画の修正をする 別の観点で振り返る 予測し、疑問を持ち、調べ、行動する	主観ではなくエビデンスに基づき対象にとって最も適した方法を考え適切に表現できる 批判的に検討する 予測し、疑問を持ち、見極め、問題解決において行動する	主観ではなくエビデンスに基づき対象にとって最も適した方法を考え適切に表現できる 批判的に検討する 予測し、疑問を持ち、見極め、問題解決において行動する
	(3)臨床判断力(問題を発見・分析し、計画を修正しながら実践し評価する力)の涵養	自分の予測や思いと異なる事象が発生することを理解できる 危険を予測する大切さがわかる	自分の予測や思いと異なる事象に気づき、計画を適切に修正することができる 起こりうる危険を予測することができる	自分の予測や思いと異なる事象が発生した際に冷静に観察しなおし、解決するための方策を考え、実践する 危険を予測し、適切な判断と行動を選択する	自分の予測や思いと異なる事象が発生した際に冷静に観察しなおし、解決するための方策を考え、実践する 危険を予測、回避して計画を修正しながら実践する	自分の予測や思いと異なる事象が発生した際に冷静に観察しなおし、解決するための方策を考え、実践する 危険を予測、回避して計画を修正しながら実践する
	(4)問題の解決に向けて協働を組織し、取り組みを点検し、新たな課題を設定し、方略を選択する	目的・目標を自ら設定する 自分や他者の言動を振り返り、課題に気づくことができる 問題を解決するための方略を学ぶ	目標と現実の間に段差や障害があることがわかる 自分や他者の言動を振り返り、課題に気づくことができる 問題を解決するための方略を考え、選択し、協働して実践する	より適切な目標に修正しながら実践できる 問題の解決に向けて課題を明確にし、問題解決のための資源(知識・知見、他者・仲間)に働きかけ、協働して実践する	より適切な目標に修正しながら実践できる 問題の解決に向けて課題を明確にし、問題解決のための資源(知識・知見、他者・仲間)に働きかけ、協働して実践する	問題の解決に向けて方略を選択し、仲間と協働して行動し、評価し、修正しながら更に展開し、結果を総括し、新たな課題を明確にする

(注) 領域に境界はありません。(便宜上の区分です)同様に、学年進行による積み上げも絶対的なものではありません。

学びは、その人ごとの事実に応じて、領域をまたぎながら、行きつ戻りつ進みます。領域や年齢を絶対視してはなりません。

教育課程表

令和4年度(2022年度)以降入学生

		標準 単位数	1学年		2学年		3学年		計	
			普通科		普通科		普通科			
			未来 探究	ス ポ ー ツ 科 学	未来 探究	ス ポ ー ツ 科 学	未来 探究	ス ポ ー ツ 科 学		
クラス数			4		4		4			
教科			単位数		単位数		単位数			
国語	現代の国語	2	2	2					2	2
	言語文化	2	2	2					2	2
	論理国語	4			○2	○2	◇2	◇2	4	4
	文学国語	4			2	2	2	2	4	4
	* 古典				2	2			2	2
地理 歴史	地理総合	2					3	3	3	3
	地理探究	3							0	0
	歴史総合	2			2	2			2	2
	日本史探究	3					◆3	◆3	3	3
	世界史探究	3					◆3	◆3	3	3
公民	公共	2	2	2					2	2
	* 時事 [∞]						■2		2	0
数学	数学Ⅰ	3	3	3					3	3
	数学Ⅱ	4			4	4			4	4
	数学Ⅲ	3					◆3	◆3	3	3
	数学A	2			○2	○2			2	2
	数学B	2					◇2	◇2	2	2
理科	科学と人間生活	2	2	2					2	2
	物理基礎	2			●2				2	0
	物理	4					■4		4	0
	化学基礎	2			2	2			2	2
	化学	4					■4		4	0
	生物基礎	2					2	2	2	2
保健 体育	体育	7	2	4	2	4	3	5	7	13
	* 専門実技Ⅰ			2					0	2
	* 専門実技Ⅱ					2			0	2
	* 専門実技Ⅲ							2	0	2
	保健	2	1	1	1	1			2	2
芸術	音楽Ⅰ	2					2	2	2	2
外国語	英語コミュⅠ	3	3	3					3	3
	英語コミュⅡ	4			4	4			4	4
	英語コミュⅢ	4					4	4	4	4
	論理・表現Ⅰ	2	2						2	0
	論理・表現Ⅱ	2			●2				2	0
	論理・表現Ⅲ	2					■2		2	0
	* 英語会話		2						2	0
	* 英語演習						◇2	◇2	2	2
家庭	家庭基礎	2	2	2					2	2
	* ライブ				◎2				2	0
情報	情報Ⅰ	2	2	2					2	2
	情報Ⅰ	2			◎2				2	0
探究	* 探究X		1	1	1	1	1	1	3	3
	* 探究Ⅰ		2	2					2	2
	* 探究Ⅱ				2	2			2	2
	* 探究Ⅲ						2	2	2	2
	総合的な探究の時間		1	1	1	1	1	1	3	3
特別活動	HR		1	1	1	1	1	1	3	3
合計			30	30	30	30	30	30	90	90
* 学校独自科目		計	5	5	7	7	7	7	19	19

愛知黎明高等学校 【全日制課程看護科・本科】2021年7月訂正
教育課程表 令和4年度(2022年度)以降入学生

教科	科目	1年	2年	3年	計		
基礎分野	国語	現代の国語	2			9	
		言語文化	2				
		論理国語		2	3		
	地歴	地理総合			2	4	
		歴史総合		2			
	公民	公共	2			2	
	数学	数学Ⅰ	3			9	
		数学Ⅱ		4			
		数学B			2		
	理科	生物基礎	2			6	
		化学基礎		2			
		物理基礎			2		
	保健体育	体育	2	2	3	7	
		保健	基礎看護 代替				
	芸術	音楽Ⅰ		1	1	2	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3			7		
	英語コミュニケーションⅡ		2	2			
家庭	家庭基礎	2			2		
情報	情報Ⅰ	1	1		2		
看護	看護情報	情報Ⅰ 代替					
基礎分野 計		19	16	15	50		
専門基礎分野	看護	人体の構造と機能(解剖生理)	3			7	
		人体の構造と機能(栄養)		1			
		疾病の成り立ちと回復の促進(病理)		2			
		疾病の成り立ちと回復の促進(薬理)		1			
		健康支援と社会保障制度(健康支援)			1	1	
専門基礎分野 計		3	4	1	8		
専門分野	看護	基礎看護(看護概論)	1			8	
		基礎看護(看護技術)	3	2	2		
		地域・在宅看護(地域看護)	1			1	
		成人看護		1	2	3	
		老年看護		1	1	2	
		小児看護			1	1	
		母性看護			1	1	
		臨地実習	基礎看護	1	4		5
			成人看護・老年看護			5	5
専門分野 計		6	8	12	26		
総合的な探究の時間		1	1	1	3		
ホームルーム活動		1	1	1	3		
その他 計		2	2	2	6		
合計		30	30	30	90		

【専攻科】

2022年度以降入学生

教育内容		科目	1年	2年	計
基礎分野	科学的思考の基盤	文学		1	10
		哲学	1		
		教育学		1	
		心理学	1		
	人間と生活社会の理解	スポーツ科学Ⅰ	1		
		スポーツ科学Ⅱ		1	
		英語		1	
		情報活用		1	
		人間関係論	1		
		社会学	1		
基礎分野 計			5	5	10
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖生理学Ⅰ	2		5
		解剖生理学Ⅱ		1	
		栄養学	1		
		生化学	1		
	疾病の成り立ちと回復の促進	病理学	1		7
		疾病と治療Ⅰ	1		
		疾病と治療Ⅱ	1		
		疾病と治療Ⅲ		1	
		疾病と治療Ⅳ		1	
		微生物学	1		
	健康支援と社会保障制度	薬理学	1		5
		公衆衛生学		1	
		社会福祉学		2	
		総合医療論		1	
専門基礎分野 計			9	8	17
専門分野	基礎看護学	看護学概論	1		5
		看護技術	2		
		看護研究の基礎	1	1	
	地域・在宅看護論	地域・在宅看護概論	1		5
		地域・在宅看護論Ⅰ	1		
		地域・在宅看護論Ⅱ		1	
		地域・在宅看護論Ⅲ		1	
		地域・在宅看護論Ⅳ		1	
	成人看護学	成人看護学Ⅰ	1		4
		成人看護学Ⅱ	1		
		成人看護学Ⅲ	1		
		成人看護学Ⅳ		1	
	老年看護学	老年看護学Ⅰ	1		3
		老年看護学Ⅱ	1		
		老年看護学Ⅲ	1		
	小児看護学	小児看護学Ⅰ	1		4
		小児看護学Ⅱ	1		
		小児看護学Ⅲ		1	
		小児看護学Ⅳ		1	
	母性看護学	母性看護学Ⅰ	2		3
		母性看護学Ⅱ		1	
	精神看護学	精神看護学概論	1		4
		精神看護学Ⅰ	1		
		精神看護学Ⅱ		1	
		精神看護学Ⅲ		1	
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ		1	4
		看護の統合と実践Ⅱ		1	
		看護の統合と実践Ⅲ		1	
		統合演習		1	
	看護臨地実習	地域・在宅看護論		2	16
成人・老年看護学		4	2		
小児看護学		2			
母性看護学		2			
精神看護学			2		
看護の統合と実践			2		
専門分野 計			26	22	48
ホームルーム活動			1	1	2
合計			41	36	77